



平成 19 年 4 月 27 日

各 位

三井不動産株式会社

平成 19 年 3 月期決算のお知らせ

三井不動産株式会社は、本日、平成 19 年 3 月期決算を確定しましたのでお知らせいたします。
 なお、詳細は決算短信をご参照ください。

連結決算のハイライト

◆ 連結業績概要

(単位：百万円)

	当期	前期	増減	(%)
売上高	1,229,193	1,159,280	69,913	(6.0%)
営業利益	161,842	137,543	24,298	(17.7%)
経常利益	142,324	118,970	23,353	(19.6%)
当期純利益	75,213	56,541	18,672	(33.0%)

- 一 当期は、売上高は対前期比 699 億円 (6.0%) 増の 1 兆 2,291 億円。
 営業利益は同比 242 億円 (17.7%) 増の 1,618 億円となり、過去最高益を更新。
 経常利益は同比 233 億円 (19.6%) 増の 1,423 億円となり、4 期連続の過去最高益更新。
 当期純利益は 186 億円 (33.0%) 増の 752 億円となり、2 期連続の過去最高益更新。
- 一 「賃貸」セグメントにおいては、前期に竣工した「日本橋三井タワー」、「銀座三井ビル」(いずれも東京都中央区)の通期稼働効果、当期に開業した「東京ミッドタウン」(東京都港区)や、「アーバンドックららぽーと豊洲」(東京都江東区)など首都圏 4ヶ所の大規模商業施設などの収益寄与に加え、特に都心部好立地におけるオフィス賃料の上昇による好影響もあり、対前期比で 337 億円増収、134 億円増益。
- 一 「分譲」セグメントについても、付加価値の高い住宅を中心に個人顧客向け住宅分譲において好調な販売状況が継続し、収益性が改善したことに加え、不動産投資市場が拡大を続けるなか、賃貸マンション「パークアクシス」シリーズなど投資家向け分譲が伸長したことにより、セグメント全体で、対前期比 47 億円増収、45 億円増益。
- 一 「仲介・販売受託・コンサルティング」および「管理受託」の両セグメントにおいても、個人・法人仲介の取扱高の増加や、当社グループが運用・管理を行う預かり資産の拡大により、いずれも対前期比で増収増益。
- 一 当期の好調な業績に鑑み、当期末配当を 9 円 (当初 5 円予定) に増配予定。

◆ 次期の連結業績見通し

(単位：百万円)

	次期予想	当期実績	増減	(%)
売上高	1,390,000	1,229,193	160,807	(13.1%)
営業利益	175,000	161,842	13,158	(8.1%)
経常利益	152,000	142,324	9,676	(6.8%)
当期純利益	85,000	75,213	9,787	(13.0%)

* 次期の配当を、年 18 円 (中間 9 円・期末 9 円) に増配予定。

以 上

<添付資料>

1. 平成19年3月期決算短信
2. 平成19年3月期決算短信 補足説明資料

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

○兜クラブ ○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会

お問合せ先 三井不動産株式会社 広報部 03 (3246) 3155
--

注意事項

本資料および添付資料記載の将来の業績の見通しに関する事項につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。